東京都渋谷公園通りギャラリー
Tokyo Shibuya Koen-dori Gallery

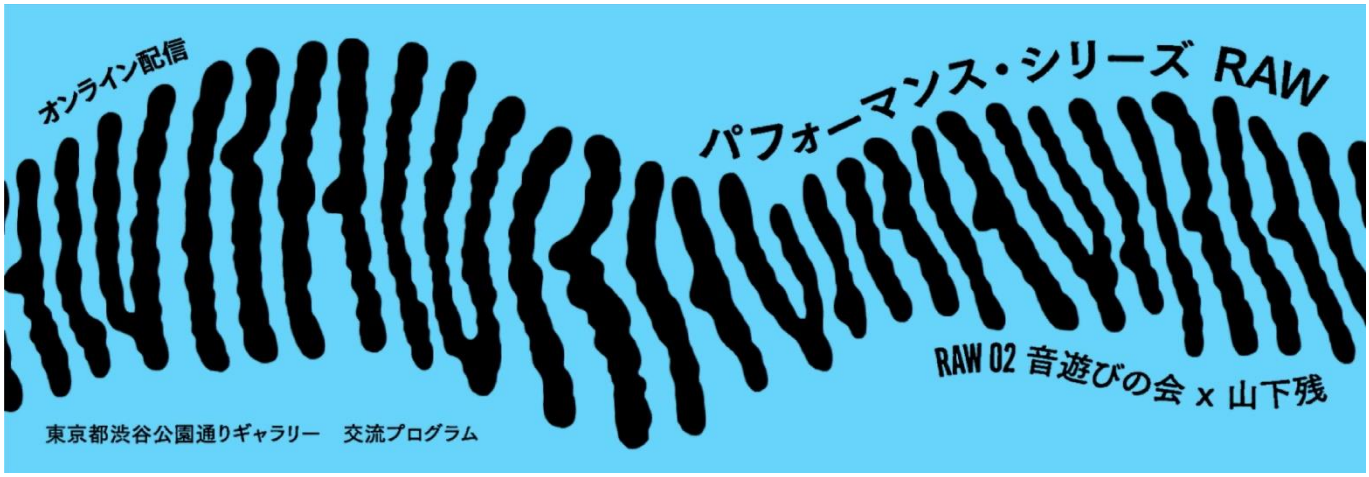
PRESS RELEASE

令和 4 年 1 月 31 日
公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都現代美術館
東京都渋谷公園通りギャラリー

【生の表現が生まれる場】パフォーマンス・シリーズ「RAW」最新作

RAW02 音遊びの会×山下残

最終ワークショップ・制作ドキュメント無料配信開始！



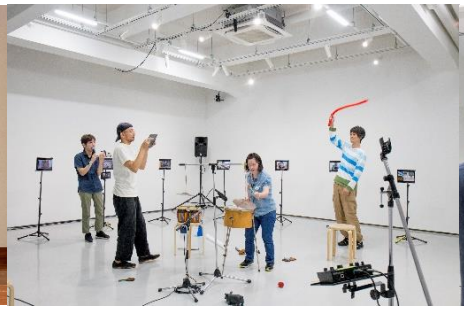
Zoom 画面以外は撮影：大森克己

東京都渋谷公園通りギャラリーが展開するパフォーマンス・シリーズ「RAW」は、音楽やダンス、演劇、対話など、展示という形式では扱うことが難しい「生の表現」が生まれる場を、アーティスト同士や観客の反応を踏まえながら展開するプログラムです。この度、第 2 弾として「RAW02 音遊びの会×山下残 最終ワークショップ」と制作過程の記録について配信を開始しました。

RAW02 では、障害のあるメンバーとないメンバーが従来の音楽にとらわれない自由な即興演奏を行う「音遊びの会」と、言葉を取り入れるなどダンスの解釈を拡げる表現を生み出してきた山下残が表現を交わします。

音遊びの会と山下は、2020 年秋からオンラインツールを取り入れたワークショップを積み重ねてきました。障害のあるメンバーがどのように別の場所にいるメンバーや山下の存在をリアルに感じられるのか、さまざまな試行錯誤と議論が重ねられました。長引くコロナ禍によって出演者全員が同じ場所に集いパフォーマンスすることは最後まで叶いませんでしたが、最終ワークショップでは、当ギャラリーに山下と音遊びの会のメンバー 4 人とスタッフが集い、その他のメンバーはリモートで参加しました。通信環境や音響面での制限など、物理的に同じ場所にいれば発生しない数々の問題に立ち向かいながら、それでも音を介して「ともにいること」を模索した最終ワークショップの様子と制作過程の記録（制作ドキュメント）をお楽しみください。

プロジェクト概要



Zoom 画面以外は撮影：大森克己

■パフォーマンス・シリーズ「RAW」とは

東京都渋谷公園通りギャラリー交流プログラムの一環として開催するパフォーマンス・シリーズ「RAW」は、音楽やダンス、演劇、対話など、展示という形式では扱うことが難しい「生の表現」が生まれる場を、アーティスト同士や観客の反応を踏まえながら展開するプログラムです。枠に収まらない表現を、渋谷にあるギャラリーの特性を生かしたサイトスペシフィックなパフォーマンスとして共有します。

初回となる RAW01 では、路上生活経験者の身体をダンスとして提示する新人 H ソケリッサ！が、ジェンダーや国籍を超えた活動に精力的に取り組むラッパーのあっこゴリラと初競演しました。

https://inclusion-art.jp/archive/event/2021/20210206-83.html

■パフォーマンス・シリーズ「RAW」02

配信期間：2022 年 1 月 31 日（月）～配信中　（本番約 26 分、制作ドキュメント約 54 分）

配　信　先：東京都渋谷公園通りギャラリー　YouTube チャンネル
https://www.youtube.com/c/skdgallery_tokyo/

視　聴　料：無　料
※ご利用にかかる通信費はお客様のご負担となります。

出　　演：音遊びの会
青木しおり、飯山ゆい、有働綾子、嘉田勝、金澤里紗、後藤佑太、坂口智基、坂口政広、新内佑豪、関本彩子、 高山優大、富阪友里、永井崇文、中大路恵美子、西谷充史、橋本麻希、藤本優、宮﨑百々花、三好佑佳、森大生、森本アリ、吉見理治、渡瀬みわ、出演メンバー家族（サポート）
山下残
音響｜おおしまたくろう

スタッフ：音響サポート｜上田真平
記録映像ディレクション｜青山真也
撮影｜渡辺俊介　宮澤響　河野真歩
録音｜鈴木万里
ロゴデザイン｜三重野龍
ロゴモーション作成｜宮本拓馬
記録写真｜大森克己
企画｜田中みゆき（東京都渋谷公園通りギャラリー）

協　　力：音遊びの会

主　　催：（公財）東京都歴史文化財団 東京都現代美術館 東京都渋谷公園通りギャラリー

出演者プロフィール

音遊びの会

2005 年結成、知的な障害のある人を含むアーティスト大集団。地元・神戸にて定期ワークショップを継続。日本各地で公演を行う。2013 年のイギリス遠征は NHK のドキュメンタリー番組となり反響を呼ぶ。楽譜や決まりごとはなし、演奏スタイルや表現のジャンルを超えた自由な即興演奏を基本に、さまざまなアンサンブルを生み出している。

山下残

振付家。代表作に、100 ページの本を配り観客がページをめくりながら本と舞台を交互に見る『そこに書いてある』、スクリーンに映写される〈すう・はく〉の記号と俳句から引用されたテキストを身体とリンクさせる『せきをしてもひとり』、本物の線路の上で断片から成る世界の事象をつぶやく『大行進』、身振りや台詞の全てに対面する相手からの承諾を得れば実行できる『インビテーション』など。

Photo: Takanobu Aoyama

■　東京都渋谷公園通りギャラリーとは

2020 年 2 月にグランドオープンした当ギャラリーは、アール・ブリュット等の振興拠点として、アートを通して、ダイバーシティの理解促進や包容力のある共生社会の実現に寄与するため、アール・ブリュット等をはじめとするさまざまな作品の展示や、新設した交流スペースを活用した対話的で創造的な交流プログラムを展開しております。

撮影：中村晃

お問合せ

東京都渋谷公園通りギャラリー　広報担当

（(公財)東京都歴史文化財団 東京都現代美術館 ）

〒150-0041　東京都渋谷区神南 1-19-8

Tel：03-5422-3151　　E-mail：inclusion@mot-art.jp

東京都渋谷公園通りギャラリー
Tokyo Shibuya Koen-dori Gallery

[取材・画像使用申込書]

東京都渋谷公園通りギャラリー　広報担当　行

Fax：03-3464-5241　E-mail：inclusion@mot-art.jp

取材および広報用画像について

本プロジェクトの取材を希望される場合は、本紙に必要事項をご記入の上、FAXまたはEメールにてお申し込みください。また、本展覧会の広報用素材として**7点**の画像をご用意しております。希望されます場合は、画像番号をご記入の上、お申し込みください。

☐ 取材希望　　☐ 画像使用希望

取材希望日時：

使用希望画像：

貴社名：

貴媒体名：

種別：　ＴＶ　ラジオ　新聞　雑誌　フリーペーパー　ネット媒体　携帯媒体　その他
○印をお付けください

発行・放送予定日：

ご担当者名：

Ｅメールアドレス：

ご住所：（〒　　）

お電話番号：

ＦＡＸ：

その他：

なお、取材および写真使用に際しましては、以下のことをお願いしております。

① 各画像のキャプションには【パフォーマンス・シリーズ「RAW」02　撮影：大森克己】とご記載ください。
　記事内のいずれかに「画像提供：東京都渋谷公園通りギャラリー」とご記載をお願いいたします。

② 画像の部分使用（トリミング）、文字載せはご遠慮ください。

③ 本プロジェクトを紹介いただく場合には、恐れ入りますが掲載誌（紙）、URL、DVD、CD等をご提供ください。

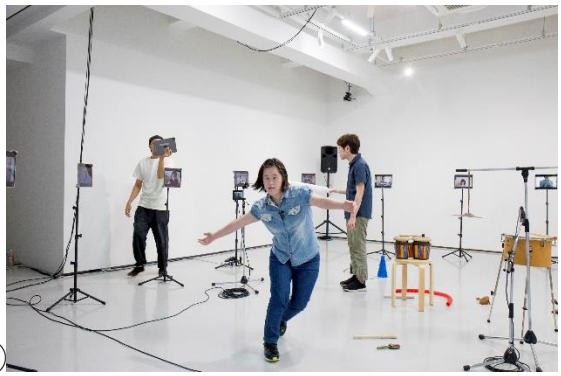
東京都渋谷公園通りギャラリー
Tokyo Shibuya Koen-dori Gallery

広報用画像一覧

①

②

③

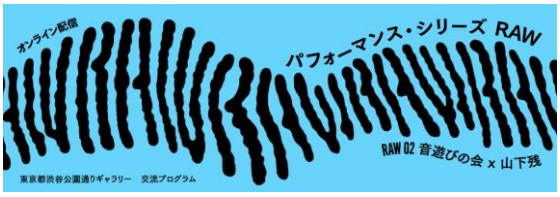
④


⑤

⑥

⑦

※このほか、RAW02 バナーもございます。



お問合せ／お申込み

東京都渋谷公園通りギャラリー　広報担当

（(公財)東京都歴史文化財団 東京都現代美術館 ）

Tel：03-5422-3151

E-mail：inclusion@mot-art.jp

URL：https://inclusion-art.jp